



雨漏りがひどい袋原小学校体育館(撮影/高村直也)

# 雨ニモマケズ??

**築45年** 袋原小学校

老朽化が進む学校の改修や建て替えを求める声は、切実です。学校の多くは、地域の避難所にも指定されています。高村直也議員は、築45年の袋原小学校(太白区)について、取りあげました。

## 雨漏りだ! 体育館 バケツ30個

高村議員「昨年の台風19号の際、わたしは、避難所となった袋原小学校でボランティアをしていた。大雨の中、夜9時以降になっても避難者は増え続け、341の方が身を寄せた。体育館の光景に驚いた。雨漏りを受けるため、あちこちにバケツが置いてある。20、30個。なんとかならないのかと多くの方から声があがった。(写真を示しながら)これほど多くの雨漏り箇所がある。通常の体育の時間などは、どのようにしているのか」

教育局「雨漏りで授業が困難になる場合は、時間割を一部変更して対応している」

高村議員「傷みが激しい。袋原小学校を改善してほしいという要望が地域からあがっている」



高村直也議員 予算審査委員会

教育局「町内会の役員から雨漏り被害と修理の要望が寄せられている」

高村議員「その声にこたえてほしい」

## トイレの様式化急いで

高村議員「袋原小学校のトイレは、西側は2階の男子トイレ、3階の男子と女子トイレに洋式の便器がない。2階には、子どもたちが使える洋式便器がない。洋式便器がない学校は、何校あるか」

教育局「洋式便器がないフロアがある学校は、小学校14校、中学校3校」

高村議員「児童の保護者から『子どもは和式トイレを使ったことがないので、小学校にあがる前に和式トイレを使えるよう練習させている。洋式化を早く進めてほしい』との声を聞いている。ただちに洋式化を進めるべきだ」

教育局「早急に取り組まなければならない課題だ。新增改築、大規模改修工事、系統ごと、便器のみの交換など、取り組んでいく」

## エレベーターの設置を 全面建て替えが必要

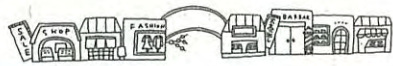
高村議員「袋原小には、人が乗れるエレベーターがないため、車いすで移動する特別支援学級の子供たちは、キャタピラーを使って車いすごと階段をのぼる昇降機を使っている。ほかの子どもたちが階段を利用しているときは、安全の確保のため昇降機を使うことができません。他の子どもの授業中に昇降機で移動している。授業時間が削られるうえ、この昇降機は講習を受けた人の2人体制を必要とすることから、現場は大変な重労働だ。エレベーターを設置する必要性から、大規模改修ではなく、全面的な建て替えが求められる」

教育局「優先度を見極め、施設整備を進める」



## 新型コロナで市が中小企業へ対策

# 信用保証料…市が全額負担 融資限度額…引き上げ



新型コロナが中小企業に大きな影響を及ぼしているなか、仙台市は、中小企業の資金繰りへ支援を決めました。

中小企業向けの融資制度を利用する際、信用保証料を全額市が負担します。また、国の経済変動対策資金（セーフティネット保証4号）について、3月2日から6月1日までの認定分は、融資限度額3,000万円を8,000万円に、同保証5号については、5,000万円を8,000万円に引き上げます。

予算審査特別委員会で嵯峨サダ子議員は、保証料への補助、融資の拡充を提案し、市は「必要な予算額を確保する」と述べていました。

## 学校給食費の引き上げ分

予算審査  
特別委員会  
すげの直子

# 公費負担でまかなえば どんなに家庭を励ますか。

学校給食の値上げは、ひとり年額1万円近く。それを保護者負担にする予算案に対し、すげの直子議員は、値上げ分は公費でまかなうよう強く求めました。

## 保護者の理解が大前提

すげの議員「前回の値上げのとき（2013年）は、審議会の答申から実施まで1年あった。教育委員会で値上げを決定してから、市民への周知に半年以上かけた。今回は、昨年11月に審議会から答申が出され、教育委員会でまだ額を定める規則の改正すらされていない。周知期間も前回よりずっと短い。審議会では『保護者への周知、説明が必要』との指摘がたびたびされていたが、コロナウィルスで学校はいつせい休校となり、保護者への周知や説明の機会はもてない」  
教育局「保護者に伝える」

## 物価上昇分は不確定

すげの議員「1食当たりの引き上げ額は、小学校45円、中学校55円。審議会の議論では40円、50円ということで推移してきたが、最後の審議会で物価上昇分として5円上乘せされた。審議会のなかで市当局は『現時点で副食用の食材価格に大きな変動はなく、消費税率改定の顕著な影響は見られない』と説明している。不確定な将来の物価上昇分を見込んで、いまの家庭に負担を求めるのは、理屈に合わない。副食用食材14品目では、豚肉、サケの切り身、じゃがい

質疑に立つ、すげの直子議員



も、キャベツ、たまねぎ、にんじん、オレンジなど8品目で消費税増税前より、増税後の方が契約価格は下がっている」

教育長「余裕をもった対応が必要」

すげの議員「上がるかどうかかわからない金額を課すのは、問題だ」

## 無償化が広がる中で

すげの議員「大阪市では、いま開かれている議会で学校給食費を無償化していくという考えが示されたそう。明石市では、幼保無償化で浮いた財源7億円の一部を活用して、学校給食費の無償化に踏み切るということだ。

いま、新型コロナの対応で、学校はいつせい休校となり、保護者の方々からは『仕事を休まざるを得ない』『3月の給料はないと言われた』など悲鳴があがっている。こうした時に6億円もの負担増を子育て世帯に強いていいのか。子育て家庭に向かって市長が『学校給食費の引き上げ分は公費負担とする』と表明すれば、どれほどの励ましや喜びにつながるか。給食費の徴収は6月末からだ。判断はこれからでも遅くはない。値上げ分について、せめて部分的にでも公費を投入して、保護者の負担を軽減すべきだ」

郡和子市長「本市は、子どもたちのためにはならばと決断できる状況にはない。かりに（値上げ分を）公費負担すれば、年間6億円を見込まなければならない」

すげの議員「仙台市には、やれる財力はある。再考を強く求める」

## いつせい休校の給料

すげの議員「新型コロナによる、いつせい休校で、非常勤講師や特別支援教育指導補助員、支援員、給食パートの方々から『3月分の給料はない』との声が寄せられている。市が雇用しているの方々には、3月分の手当は、補償すべきだ。今年度予算でもともと組んでいる分を執行すればいいこと。補正予算は、いらない」

教育局「児童生徒がいなくてできる業務があり、各学校で柔軟に対応し仕事をしてもらう。これに対価を払う」